「事業カルテ」の見方

事業の位置づけ	h	事業な	ᄀᆘᄼᆕ	「(3年度決算)		(1) 月	听管課名
経緯、位置づけなど、この事業の総		(2) 款-項-	<u> </u>					
合的な解説				(6) 1)	于不行			
(A) = 7h o IS NT	M	◇事業の位				(F) =+ \(\) \(\) \(\) \(\) \(\)	7 LB A ⇒1 3	
(4) 事務の種類 自治事務、特例事務、法定受託事		事務の)種類		礎となる法令	(5) 該当がある	5場合記人	
日石事務、特例事務、伝足支託事 務から選択				目指すまちの姿 —				
33.1 3.23 (第五次総	(合計画	政策 - 一				
(6) 第五次総合計画の目標体系		基本計	画体系	施策				
上の位置付けを記入				関連する施策	_		_	_
Language Control of the Control of t	▼	関連する個	固別計画			*	•	•
(7) 関連する各分野の個別計画	Mar.	関連する	告書かど					
等を記入	, .***							
(A) BByt L 7 to 4 th (1845)		サポ 加州		(9) 当該年度	を含め これま	でにどんな見直し	や改善等を行っ	たか
(8) 関連する報告書などを記入		これまでの見直	①し・改善など	(0) 31% 1/2	. E [] (), CA ()	くてこうかなが良い	ン (吹日 寸 2 门 2	70.73
	4 .	^ ^ *	中の主告 4)	(0) いつからは	じめたのか。古世	開始の時期	
事業の実施内容		◇令和3年	度の争業の	ク 美胞 内容 し	10) (1-2/1-0/4	も 手業	開始の時期	
この1年間で行う事業についての		事業の	目的	(4.1)				
解説		令和3年月		(11) この事業	は、何のために	実施するのか、この	01年間に何を達成	戊するのか
77 874	4							
予算の執行			执行方法	(12) 建物維持管理、団体への助成、講師謝礼等、具体的に記入				

		±-₩- «	4- н	(40) 本业。	ケートー 1 1~ L to Het	1/t. トッ 上 田 - 上 :	- 1 田松蓮之土1	210
		事業の	ルス	(13) 事業を	けりことにより男	待する成果。主に	に成果指標を衣し	1500
事業にかかる費用(千円単位)		<u></u>						
		◇事業にか	かる費用					
(14) 決算額: 事業費下欄の「直接・ 経費」の総額		区	分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		▲ 決算額(単	位:千円)	0 ∓ฅ	0 ∓ ¤	0 ∓用	0 +m	0 ∓用
(45) 東光によれて中一コー								
(45) 東米にかかて中っつ!		_ 事業にかか	る実コスト	0 ∓ฅ	0 ∓ ⊬	0 ∓⊞	0 ∓ ฅ	0 +n
(15) 事業にかかる実コスト 事業費(直接経費)と事業費に含ま		国庫支		0 ∓ Ħ 0	0 ∓ p 0		0 千円 0 千円	
(15) 事業にかかる実コスト 事業費(直接経費)と事業費に含ま れない諸経費(間接経費)の合算		国庫 国庫 オカ	支出金		-	0 千円		0 ∓p
事業費(直接経費)と事業費に含ま・		国庫 3 都支出 接 地方値	支出金 出金	0 千円	0 千円	0 千円 0 千円	0 手用	0 千円 0 千円
事業費(直接経費)と事業費に含まれない諸経費(間接経費)の合算		国庫プロ接経地方に	支出金 出金	0 千円 0 千円	0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円	О †н О †н О †н
事業費(直接経費)と事業費に含まれない諸経費(間接経費)の合算 (16) 間接経費		国庫プロ接経地方に	5出金 出金 責 1.特定財源	0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm	0 FP 0 FP 0 FP 0 FP 0 FP	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm
事業費(直接経費)と事業費に含まれない諸経費(間接経費)の合算		直接経費 間職員	を出金 出金 責 也特定財源 対源	0 fm 0 fm 0 fm 0 fm	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円	0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm
事業費(直接経費)と事業費に含まれない諸経費(間接経費)の合算 (16) 間接経費 事業費には含まれない諸経費		国庫3 都支出 を	支出金 出金 責 也特定財源 才源 人件費 従事人員数》	0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm	0 年 0 年 0 年 0 年 0 年 0 年 0 年 0 0 年	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 年9 0 年9 0 年9 0 年9 0 年9 0 年9 0 年9	0 FH 0 FH 0 FH 0 FH 0 FH
事業費(直接経費)と事業費に含まれない諸経費(間接経費)の合算 (16) 間接経費 事業費には含まれない諸経費		国庫3 都支出 を	支出金 出金 責 也特定財源 対源 人件費	0 ÷H 0 ÷H 0 ÷H 0 ÷H 0 ÷H	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm	0 FH 0 FH 0 FH 0 FH 0 FH
事業費(直接経費)と事業費に含まれない諸経費(間接経費)の合算 (16) 間接経費 事業費には含まれない諸経費		国庫3 都支出 を	支出金 出金 責 世特定財源 対源 人件費 従事人員数》	0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm	0 年 0 年 0 年 0 年 0 年 0 年 0 年 0 0 年	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 年9 0 年9 0 年9 0 年9 0 年9 0 年9 0 年9	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円
事業費(直接経費)と事業費に含まれない諸経費(間接経費)の合算 (16) 間接経費 事業費には含まれない諸経費 (次ページ参照)		国庫3 都支出 地方信 その他 訳 間接 経費 間接 乗 その他	支出金 日金 青 一特定財源 小け源 人件費 従事人員数》 2の人件費	0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm	0 年 0 年 0 年 0 年 0 年 0 年 0 年 0 0 年	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 年9 0 年9 0 年9 0 年9 0 年9 0 年9 0 年9	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円
事業費(直接経費)と事業費に含まれない諸経費(間接経費)の合算 (16) 間接経費 事業費には含まれない諸経費 (次ページ参照) 成果指標: 事業の成果をできるだけ		国庫	支出金 日金 青 一特定財源 小け源 人件費 従事人員数》 2の人件費	0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 年月 0 年月 0 年月 0 年月 0 年月 0 0 年月
事業費(直接経費)と事業費に含まれない諸経費(間接経費)の合算 (16) 間接経費 事業費には含まれない諸経費 (次ページ参照)		国庫支出 国庫支出 国庫支出 国庫支出 国庫支出 国庫支出 国接経費 同接経費 同接経費 同接経費 「一般員」 (「他者費」 「他者費」 「他者費」 「一般日本 「一述 「一述 「	を出金 出金 責 也特定財源 才源 人件費 従事人員数》 也の人件費	0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm	0 年 0 年 0 年 0 年 0 年 0 年 0 年 0 0 年	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 年月 0 年月 0 年月 0 年月 0 年月 0 0 年月
事業費(直接経費)と事業費に含まれない諸経費(間接経費)の合算 (16) 間接経費 事業費には含まれない諸経費 (次ページ参照) 成果指標: 事業の成果をできるだけ 数値で示したもの		国庫支出 国庫支出 国庫支出 日本 本方 方 他	を出金 出金 責 也特定財源 才源 人件費 従事人員数》 也の人件費	0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 年月 0 年月 0 年月 0 年月 0 年月 0 0 年月
事業費(直接経費)と事業費に含まれない諸経費(間接経費)の合算 (16)間接経費 事業費には含まれない諸経費 (次ページ参照) 成果指標:事業の成果をできるだけ 数値で示したもの ※目標設定が相応しくないものは現		国庫支出 国庫支出 国庫支出 国庫支出 国庫支出 国庫支出 国接経費 同接経費 同接経費 同接経費 「一般員」 (「他者費」 「他者費」 「他者費」 「一般日本 「一述 「一述 「	を出金 出金 責 也特定財源 才源 人件費 従事人員数》 也の人件費	0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 年月 0 年月 0 年月 0 年月 0 年月 0 0 年月
事業費(直接経費)と事業費に含まれない諸経費(間接経費)の合算 (16) 間接経費 事業費には含まれない諸経費 (次ページ参照) 成果指標: 事業の成果をできるだけ 数値で示したもの ※目標設定が相応しくないものは現 状値、予測値等を記入		国庫支出作 国庫支出作 地方の他 段 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般	を出金 出金 責 也特定財源 才源 人件費 従事人員数》 也の人件費	0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 FPI
事業費(直接経費)と事業費に含まれない諸経費(間接経費)の合算 (16) 間接経費 事業費には含まれない諸経費 (次ページ参照) 成果指標: 事業の成果をできるだけ 数値で示したもの ※目標設定が相応しくないものは現 状値、予測値等を記入 (次ページ参照)		国庫支出作 国庫支出作 本方の他	を出金 出金 責 也特定財源 才源 人件費 従事人員数》 也の人件費	0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0.00 人 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 FPI
事業費(直接経費)と事業費に含まれない諸経費(間接経費)の合算 (16)間接経費 事業費には含まれない諸経費 (次ページ参照) 成果指標:事業の成果をできるだけ 数値で示したもの ※目標設定が相応しくないものは現 状値、予測値等を記入 (次ページ参照) (17) 特記事項 自由記述		内 訳 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を出金 出金 責 也特定財源 才源 人件費 従事人員数》 也の人件費	0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0.00 人 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 FPI
事業費(直接経費)と事業費に含まれない諸経費(間接経費)の合算 (16) 間接経費 事業費には含まれない諸経費 (次ページ参照) 成果指標:事業の成果をできるだけ 数値で示したもの ※目標設定が相応しくないものは現 状値、予測値等を記入 (次ページ参照) (17) 特記事項 自由記述 利用者負担がある場合、「事業にか かる実コスト」から利用者負担分を除		国庫 国庫 支 本 大 大 大 大 大 大 大 大 大	を出金 出金 責 也特定財源 才源 人件費 従事人員数》 也の人件費	0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0.00 人 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 FPI
事業費(直接経費)と事業費に含まれない諸経費(間接経費)の合算 (16)間接経費 事業費には含まれない諸経費 (次ページ参照) 成果指標:事業の成果をできるだけ 数値で示したもの ※目標設定が相応しくないものは現 状値、予測値等を記入 (次ページ参照) (17) 特記事項 自由記述 利用者負担がある場合、「事業にかかる実コスト」から利用者負担分を除 いた額を分子として算出した単位コス		内 訳 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を出金 出金 責 也特定財源 付が源 人件費 従事人員数》	0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0.00 人 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 FPI
事業費(直接経費)と事業費に含まれない諸経費(間接経費)の合算 (16) 間接経費 事業費には含まれない諸経費 (次ページ参照) 成果指標:事業の成果をできるだけ 数値で示したもの ※目標設定が相応しくないものは現 状値、予測値等を記入 (次ページ参照) (17) 特記事項 自由記述 利用者負担がある場合、「事業にか かる実コスト」から利用者負担分を除		内 訳 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を出金 出金 責 也特定財源 付が源 人件費 従事人員数》	0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0.00 人 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 FPI
事業費(直接経費)と事業費に含まれない諸経費(間接経費)の合算 (16)間接経費 事業費には含まれない諸経費 (次ページ参照) 成果指標:事業の成果をできるだけ 数値で示したもの ※目標設定が相応しくないものは現 状値、予測値等を記入 (次ページ参照) (17) 特記事項 自由記述 利用者負担がある場合、「事業にかかる実コスト」から利用者負担分を除 いた額を分子として算出した単位コス		内 訳 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	支出金 出金 青 也特定財源 才源 人件費 從事人員数》 也の人件費	0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0.00 人 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 FPI
事業費(直接経費)と事業費に含まれない諸経費(間接経費)の合算 (16)間接経費 事業費には含まれない諸経費 (次ページ参照) 成果指標:事業の成果をできるだけ数値で示したもの ※目標設定が相応しくないものは現状値、予測値等を記入 (次ページ参照) (17) 特記事項 自由記述 利用者負担がある場合、「事業にかかる実コスト」から利用者負担分を除いた額を分子として算出した単位コストを記入		内 訳 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を出金 出金 青 一型の特定財源 付が源 人件費 従事人員数》 中の人件費	0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm 0 fm	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 1 長標 結果	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 FH	0 FPI
事業費(直接経費)と事業費に含まれない諸経費(間接経費)の合算 (16)間接経費 事業費には含まれない諸経費 (次ページ参照) 成果指標:事業の成果をできるだけ 数値で示したもの ※目標設定が相応しくないものは現 状値、予測値等を記入 (次ページ参照) (17) 特記事項 自由記述 利用者負担がある場合、「事業にかかる実コスト」から利用者負担分を除 いた額を分子として算出した単位コス		内 国庫支 日本 大 日本 日本	を出金 出金 責 ・ 地特定財源 大件費 (従事人員数) ・ 本の人件費	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 1 0.00 人 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 1 長標 結果	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 1 千円 0.00 人 0 千円	0 FH	0 FPI
事業費(直接経費)と事業費に含まれない諸経費(間接経費)の合算 (16) 間接経費 事業費には含まれない諸経費 (次ページ参照) 成果指標:事業の成果をできるだけ 数値で示したもの ※目標設定が相応しくないものは現 状値、予測値等を記入 (次ページ参照) (17) 特記事項 自由記述 利用者負担がある場合、「事業にかかる実コスト」から利用者負担分を除いた額を分子として算出した単位コストを記入 (18) 自己点検・評価項目		内 訳 ・	を出金 出金 責 ・ 地特定財源 大件費 (従事人員数) ・ 本の人件費	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 1 0.00 人 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 1 0.00 人 0 千円 結果 目標 結果	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 1 千円 0.00 人 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	0 中月 0 中月 0 中月 0 中月 0 中月 0 中月 0 中月 0 中月
事業費(直接経費)と事業費に含まれない諸経費(間接経費)の合算 (16) 間接経費 事業費には含まれない諸経費 (次ページ参照) 成果指標:事業の成果をできるだけ 数値で示したもの ※目標設定が相応しくないものは現 状値、予測値等を記入 (次ページ参照) (17) 特記事項 自由記述 利用者負担がある場合、「事業にか かる実コスト」から利用者負担分を除 いた額を分子として算出した単位コストを記入 (18) 自己点検・評価項目 自己点検・評価・アで記入した		内 訳 国東支 H (を出金 出金 青 也特定財源 才源 人件費 従事人員数》 2の人件費	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 1 0.00 人 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 1 0.00 人 0 千円 結果 目標 結果	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 1 千円 0.000 人 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	令和4年度

◇間接経費について

直接経費(決算額)には含まれない、人件 費などの目に見えにくい費用を間接経費とし て示すことで、事業にかかる実コストを示す。

人件費の算出方法については、様々な方法が考えられるが、同じ手法により継続的に算出することで、多摩市における事業経費の相対的な把握が可能となり、数値の信頼性も高まる。そのため、平成16年度の算出開始より、一貫して右記の方法を用いている。

①職員人件費:一般常勤職員の人件費(管理職を除く) 「従事人員数」に、「職員1人あたりの人件費単価〔給与(残 業分を含む)、退職金相当分、福利厚生等、1人の職員に要する 費用の平均額〕」を掛けたもの。実際の職員給与とは異なる。

・平成 29 年度 ・平成 30 年度 ・令和元年度 ・令和 2 年度 ・令和 3 年度 ・令和 3 年度 ・R,812,983 円 8,400,609 円 8,582,437 円 8,371,003 円 8,282,540 円

②従事人員数:管理職を除く職員を、事業ごとに案分した人員数

③その他の人件費:事業費(決算額)には含まれていない、

再任用職員、会計年度任用職員の合算額

◇成果指標について

数値による指標を設定することは、できる だけ客観的な視点で成果を示すことであり、 市民との情報共有のための重要なポイントと なる。

しかし、事業によっては数値化が困難なもの、特に成果指標の設定にそぐわないものもある。その場合は、理由を記した上で指標欄を空欄にするものや、市民が成果をイメージできるよう文章で記入している。

なお、目標設定がそぐわない場合は、把握 している現状値等を記入している。 ①活動指標(アウトプット)=単純な結果 市が市民生活に供給する財やサービス。主語は「市」 例)市はごみのリサイクル講習会を3回実施した

②成果指標(アウトカム)=施策や事業など市が市民生活などに与える変化

市民が受け取る成果。主語は「市民」

例) 講習会の参加により リサイクルに興味をもったと答えた市民の数:20人

◇自己点検項目

	評価軸	項目	判断基準
		Α	成果が向上している
 成果指標 <i>0</i>	7.拼段	В	成果を維持している
/从未]日/示♡	7]性19	С	成果が低下している
		N	一律に比較できない
		Α	拡大していくと考えられる
	量的ニーズ (事業を必要とす	В	現状と変わらない
	る(利用する)人の総数)	С	縮小していくと考えられる
今後の		N	予測が困難である
見通し		Α	拡大していくと考えられる
	 今後の一般財源所要額	В	現状と変わらない
	→1友♥ノ IQ以	С	縮小していくと考えられる
		N	予測が困難である
·		ア	廃止
今後の方向	可性	イ	現状のまま継続
		ウ	見直しのうえで継続

成果指標の推移から、 事業の有効性について 検証する。

今後の市民ニーズと今 後の必要資源の予測か ら、今後の需給見通し を予測する。

自己点検結果を踏まえ て、今後の方向性を検 討する。